

2月号

School Aid Japan Cambodia

スクール・エイド・ジャパン・カンボジア



Dream通信

2009. 2. No.11

子どもたちの学校で朝給食がはじまりました ～SAJとWFP（世界食料計画）の協同事業～



朝6時。国旗の掲揚を終えて
小学校へ向かう子どもたち。



ご飯を炊く調理人の方です。まだ暗いうち
から子どもたちへの給食の準備をします。

SAJでは、2006年5月からWFP（国連世界食料計画）と協同で、コンポンチュナン州内のSAJが学校建設支援をした15校、6,500人の全児童に、朝給食を提供してきました。WFPからはお米などの食材を提供していただき、SAJは各学校で調理器具の購入や、校長先生、給食担当者への講習会などの給食の準備をしています。学校に通う子どもたちの中には、貧しいため朝ごはんを食べずに登校し、空腹で授業に集中できない場合があります。朝給食の実施は子どもたちの出席率向上に大変役立っています。SAJでは2008年12月よりポーサット州で学校建設をした14校でも支援を行うことになりました。現在園では小学校1年生から3年生まで、トールクポー小学校へ通学しています。この学校でも朝給食の支援対象となり、子どもたちは朝6時の国旗掲揚の後に、お皿やスプーンを持参して学校へ向かいます。学校ではまだ暗いうちから調理人の方が準備をしていました。炊き上がったご飯とおかずが調理人さんによって子どもたちに分配されます。園の子どもたちは、小学校3年生のお兄さんが下の学年の子どものためにご飯を取り分けあげていました。地元の子どもたちも6時30分頃には学校に集まり、教室の中や外など思い思いの場所で給食を食べていました。給食の後は7時からすぐに授業が始まります。お腹いっぱいご飯を食べた子どもたちの元気な声が、学校の外まで響いていました。



給食を食べる園の子どもたち。



みんな残さず食べています。



この後すぐ授業が始まります。

～園に新棟を建設中～

現在園では新しい宿舎を建設中です。子どもの数は48人ですが、今後子どもの調査を続け80人まで受け入れる予定です。そのため子どもの面倒を見る保母担当職員などのスタッフも増員する予定でいます。園の敷地の奥に建設されている新しい棟は2階建てで8部屋あり、職員が寝泊りするために利用されます。建設費は約1,860万円で、完成は今年の4月頃を予定しています。



～ファーストカット様が園に来園～

2月18日に、日本からヘアカット専門店、First Cut（ファーストカット）様のスタッフ8名が来園してくださいました。目的は園の子どもたちの散髪のためです。園の近くにも床屋はありますが、日本のように必ずしも資格を持った人が働いていないため上手ではありません。園の職員が子どもの散髪をすることもあります。First Cut 様は日本の専門店でSAJ（スクール・エイド・ジャパン）の募金箱を設置して、募金に協力していただいています。今回は「夢追う子どもたちの家」での子どもたちの散髪と交流のため、はるばる日本から園を訪問してくださいました。園では日本から上手に髪を切ってくれるスタッフの人たちが来てくれるということで、子どもたちも楽しみにしていましたが、自己紹介を終えていざ髪を切る時になると、子どもたちはとても緊張して、どんな髪型になるのかとても心配そうな顔をしていました。しかしスタッフの方はとても親切で、子どもたちに優しく声をかけていただき、また日本から持参した髪型の写真を見せたりしながら、子どもたちの緊張をほぐしてくれました。1人、2人と散髪が終わると、子どもたちも緊張がほぐれて、自分から散髪用に用意した椅子に座り始めました。スタッフの方のような髪型にすると、リクエストする男の子もいました。女の子は髪の毛が痛んでいる子が多かったため、毛先を中心にカットしてもらいました。散髪が終わると満足そうな顔をして子どもたちは鏡を見ていました。散髪が終わった後に子どもたちに、日本語とクメール後で「ありがとう」と文字の入ったオリジナルのTシャツを全員にいただきました。気温が35度を超える中、1人1人の子どもの髪の毛を丁寧に切っていただいたスタッフの皆様にお礼を申し上げます。

